

やまがた観光まちづくり塾の概要

1 塾長等

- (1) 名誉塾長 後藤靖子 山形県副知事
- (2) 塾長 川口直木 企画プロデューサー
千葉商科大学政策情報学部 非常勤講師（プロデュース演出論）
三菱総合研究所 客員研究員（集客事業、地域政策等）
京都デザイン研究所 代表取締役
NPO法人黒部まちづくり協議会・黒部市観光協会 顧問 など
- (3) 顧問 清水慎一 株式会社ジェイティビー常務取締役

2 開催回数：6回（開塾式+県内4地区で各1回の塾開催+修了式）

3 当塾のスケジュール

- (1) 開塾式：7月11日（火） 午後1時30分～3時
山形グランドホテル（山形市本町一丁目7-42 TEL023-641-2611）
開塾式後の日程（全て同ホテル内で開催）
世話人会の設立：3時15分～4時 （グループの代表による役割分担などの決定）
進め方等説明会：4時15分～4時30分 （塾長より）
交流会：5時30分～ 交流会参加費は5千円（当日会場にてお支払いください）
- (3) 塾の開催時期及び会場：平成18年7月中旬～平成19年2月中旬
村山、最上、置賜、庄内の4地区で各1回 持ち回りで開催
- (4) 修了式：2月下旬～3月上旬 山形市内で開催を予定
①修了式と併せて、観光まちづくりのアイデアの発表会又はプレゼンテーション会を行います。
②発表又はプレゼンテーションのテーマ及び方式は追って発表します。
③修了式には、地区の世話人会や塾生など多くの方の参加をお願いします。

4 塾生の役割

塾生は、地区の世話人会（名称は自由。役割は塾開催の企画・運営、連絡調整など）を組織し、地区で塾を開催するために必要となる役割（代表、副代表、会計責任者など）を決めていただきます。

- ①地区に所属するグループの代表者・塾生などとの連絡調整
- ②塾の開催に先立ち地区毎のテーマや取組み方向などについて資料の作成
- ③塾の開催地の選定、開催案内、準備、開催などの企画・運営 など

5 やまがた観光まちづくり塾の進め方

- (1) 塾の実施方法
4地区毎に世話人会が中心となり、塾の企画・運営を実施します。
- (2) 開催地
世話人会が中心となって各地区から一箇所選定し、意見交換会場や宿泊施設などを手配します。

(3) 参加方法

- ①開催地区の世話人会が各地区の代表に案内 地区の代表は連絡網を通じ塾生に案内します。塾生に限らず、広く参加を求めるのは大歓迎
- ②会費制とし、宿泊コースも準備。
※塾長の交通費・宿泊費は山形観光アカデミーが負担します。

(4) 塾の構成

- ①まちあるき
地区毎に企画してまちの一番魅力的なコースを設定。地区の塾生が参加者を案内します。
- ②講師によるレクチャー
塾長指名のアドバイザーによる、観光まちづくりに関わるテーマでのレクチャー。
- ③交流ディスカッション
まちあるきの印象や提案、アドバイザーのレクチャーを手がかりにしたフリーディスカッション。酒食をまじえた気さくで活発な意見交換会。進行は塾長。
※アドバイザーの交通費・宿泊費は山形観光アカデミーが負担します。

6 やまがた観光まちづくり塾のテーマ（例）

塾開催時のテーマ（例）は次のようなものです。

- (1)「美しいまちづくり」＝美しさは全ての基本です。発見し創造します。
Ex. 花で彩るまちづくり。景観・修景を活かしたまちづくり。環境美化に取り組むまちづくり。
- (2)「安らぐまちづくり」＝安全・安心の安らぎのある所に人は集まってきます。
Ex. 地域として子供・老人を守る活動を通じたまちづくり。
- (3)「楽しいまちづくり」＝まちづくりは誰でも参加できる楽しいもの。
Ex. 地域の活動がまちづくりの基本、参加することが楽しくなる工夫を凝らしたまちづくり。
- (4)「企てるまちづくり」＝何も無いところから魅力と活動をつくりだす。
Ex. いつも見ているものが宝かもしれない。宝を磨くための取組みを通じたまちづくり。

7 おわりに

当塾は、観光まちづくりに活躍される人材育成を目的とするものです。

塾生間の交流（ネットワーク）により、各地域で活動される際の糧（知恵や力）となることや、塾生の活動を知っていただくことで、自発かつ主体的な活動のきっかけづくりになることを期待します。

塾生は他地区で開催する塾にも積極的にご出席してください。各地区で開催される塾に参加して、違う地域を知り・考えることで、新しい発想が、また、違う地域の人と交流することで、新しい知恵や力が湧いてきます。